

たかまつ

え～な すげ～な で～れ～な～


わかまち

高松


# E S D 調査表



小学生・中学生版

タイトル	高松自まん!! 造山古墳 		
場所	造山古墳	分類	※記入しないでください。
説明	<p>岡山の高松地区には、昔の王様のお墓(古墳)があります。大きさは全国で第4位で面積約350m²です。東京タワーの1/3の大きさがあります。形は、「前方後円墳」という形で、昔は、後円の円の方には死んだ王をうめ、前方の三角の方で、その王につぐ新しい王を決めていたそうです。この造山古墳には、「吉備人王」という勢力の強かった王がうまっているそうです。昔、岡山は強い国だったそうです。造山古墳のまわりには、約6000個の土器やハニワがならべられていたそうです。これも、王の力を現しています。造山古墳は、2〜3段に作られていて、山を加工して山を盛って作られています。まわりにはおぼろがあります。私達の高松地区には、こんな自まんがあります。</p>		
写真 または 絵など			



タイトル	造山古墳																														
場所	造山古墳	分類	※記入しないでください。																												
説明	<p>造山古墳群は全長約350～360mを測り、全長第4位である造山古墳と、その西側一帯に築かれた、6基の中規模の古墳とで構成される。</p> <p>造山古墳は自由に立ちよりの古墳として最大規模である。5世紀前半の吉備と交配(交互)の墓といわれていて、6基の中規模の古墳は、その西側に、北に、南に、東に、西に、それぞれ1基とされている。</p> <table border="1" data-bbox="284 1025 1481 1377"> <thead> <tr> <th>古墳名</th> <th>墳形</th> <th>規模</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柳山古墳(第1号古墳)</td> <td>前方後円墳</td> <td>径35m(推)</td> <td>国大崎町の地形帯跡出土した</td> </tr> <tr> <td>造山古墳第2号古墳</td> <td>方墳</td> <td>辺長10m</td> <td>外堤の地輪列が検出され、地輪跡</td> </tr> <tr> <td>造山古墳3号古墳</td> <td>円墳?</td> <td>径30m?</td> <td>方石(?)削平跡、墳形は不明である</td> </tr> <tr> <td>造山古墳第4号古墳</td> <td>前方後円墳</td> <td>墳長55m</td> <td>農道幅広に伴、家物埋蔵前、短冊形埴輪出土</td> </tr> <tr> <td>十是古墳(第5号古墳)</td> <td>前方後円墳</td> <td>墳長44m</td> <td>筑前古墳として、有名</td> </tr> <tr> <td>造山古墳第6号古墳</td> <td>円墳</td> <td>径30</td> <td>十是古墳と規模の差を伴う</td> </tr> </tbody> </table>			古墳名	墳形	規模	備考	柳山古墳(第1号古墳)	前方後円墳	径35m(推)	国大崎町の地形帯跡出土した	造山古墳第2号古墳	方墳	辺長10m	外堤の地輪列が検出され、地輪跡	造山古墳3号古墳	円墳?	径30m?	方石(?)削平跡、墳形は不明である	造山古墳第4号古墳	前方後円墳	墳長55m	農道幅広に伴、家物埋蔵前、短冊形埴輪出土	十是古墳(第5号古墳)	前方後円墳	墳長44m	筑前古墳として、有名	造山古墳第6号古墳	円墳	径30	十是古墳と規模の差を伴う
古墳名	墳形	規模	備考																												
柳山古墳(第1号古墳)	前方後円墳	径35m(推)	国大崎町の地形帯跡出土した																												
造山古墳第2号古墳	方墳	辺長10m	外堤の地輪列が検出され、地輪跡																												
造山古墳3号古墳	円墳?	径30m?	方石(?)削平跡、墳形は不明である																												
造山古墳第4号古墳	前方後円墳	墳長55m	農道幅広に伴、家物埋蔵前、短冊形埴輪出土																												
十是古墳(第5号古墳)	前方後円墳	墳長44m	筑前古墳として、有名																												
造山古墳第6号古墳	円墳	径30	十是古墳と規模の差を伴う																												
写真 または 絵など																															

わかまち **高松**

え～な すげ～な で～れ～な～

**E S D** 調査表



小学生・中学生版

<p>タイトル</p>	<p>造山古墳</p>		
<p>場所</p>	<p>岡山県岡山市北区新庄下</p>	<p>分類</p>	<p>※記入しないでください。</p>
<p>説明</p>	<p>形状…前方後円墳。規模…全長350m、高さ31m(全国4位)。築造年代…5世紀          ・位置…北緯34度40分25.63秒、東経133度48分13.35秒。史跡指定…大正10年(1921年)国指定          周囲には神山古墳(造山第1号墳)や千足装飾古墳(造山第5号墳)など6基の階          塚がある。現在に至るまで、本格的な学術調査が行われておらず、内部は未発掘          である。特徴として、墳丘の長さに対して後円部の割合が大きいことが挙げられる          大きさから古代吉備にヤマト王権に対抗しうる、または、拮抗した強力な王権(吉          備政権)があったとする見解もある。一方で、吉備の首長ではなく、中央の大和王権          が造った古墳であり、その被葬者も倭寇の一人ではないかとしている研究者もいる。          天皇陵に比定されている上佐古墳をはじめ近畿地方の巨大古墳が宮内庁          により国民はもちろん学者、専門家も内部への立ち入りが禁止されているのに対し          ここは立ち入り出来る古墳では国内最大のものであり、全国的に見ても貴重である。          前方部の頂に祭祀に使用された台形壇があったと想定され、後円部への埋葬が          終わってから作られたものであると考えられる。その大きさは台形の短辺(下底)が約70m          長辺(上底)は約40m、両辺の間(高さ)約50mという大規模なものである。後円部へ向          かうと広場と呼ばれる広い平坦部がある。周濠は長い間発見されず、有無をわ          づかなくて議論があったが2010年(平成22年)に行われた岡山大学文学部考古学研究室の試掘          調査で存在が確認された。幅約20mと推定されている。本古墳の築造時期は5世紀前半          中葉はじめ頃と推定されている。</p>		
<p>写真 または 絵など</p>			